

広島県中小企業団体中央会 2020年3月分情報連絡一覧表

※本調査は4月の見通しについても調査をしている関係上、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する4月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

今月の売上は、新型コロナウイルスの影響による売上増加、減少と組合員によって明暗が分かれる状態が続いている。

地方発送のある企業は運賃負担の増加が利益を圧迫し、疲弊している。

中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比30.0%増加、前年同月比4.0%減少となり、売上高は前月比24.1%増加、前年同月比4.3%減少となった。

令和元年度4月～3月の出荷量は前年比3.1%減少となった。

(繊維・同製品)

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

百貨店、小売店の営業自粛、消費者の購買意欲の低下により販売減となっている。新型コロナウイルスの影響により互いに面談を自粛し、訪問営業が出来ていないため営業活動が低下している。輸出もストップしている。為替の変動幅が大きく、損益にも影響を与えている。

残業が減り、個人所得が減少する。

外出規制により消費が低迷する。

売上減少、収入減少により、資金繰りの悪化が懸念される。

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

新型コロナウイルスの影響により中国からの納期遅れが発生している。従業員の出張が原則できないため、売上に影響が出ている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

福山木材協同組合

景況感は悪化しているが、なんとか持ちこたえている感がある。しかし、先行き不透明感は続いている。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和2年2月の全国の住宅着工戸数は63,105戸で前年同月比12.3%減少
- ・季節調整済年率換算値では87.1万戸(前月比7.2%増加)
- ・利用関係別では、持家は19,557戸で前年同月比11.1%減少、貸家は22,638戸で前年同月比18.9%減少
- ・分譲住宅は20,362戸で前年同月比3.9%減少
- ・木造住宅着工は33,849戸で前年同月比11.2%減少
- ・住宅着工動向は8ヶ月連続で減少し、1965年以降55年ぶりとなった先月に続き2万戸割れ

<広島>

- ・広島県内の2月の着工戸数は1,243戸で前年比27.1%減少、このうち持家は409戸で同4.2%減少、貸家は477戸で同17.5%減少、分譲は351戸で同29.7%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比4ヶ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数521戸で前年同月比12.3%減少、福山市が212戸で同37.1%減少、呉市は125戸で同52.4%増加、東広島市は113戸で同14.1%増加、廿日市市は74戸で同42.3%増加と地域間、業者間で景況感に差が見られる。
- ・消費税率引き上げ後緩やかに下降線をたどっていた中で、新型コロナウイルス感染拡大の深刻化や、日常生活・経済活動停滞が長期化した場合の経済危機への警戒感、先行き不安感など様々な不安要素を訴える声が増えている。原材料の入荷遅れや受注減など経済活動の停滞で資金繰りを不安視する声も出始めており、今後の動向をしっかり注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

新型コロナウイルスの感染拡大が本格化し、緊急事態となっている。

人、物の流れがストップし、経済全般が先の見通せないトンネルに入ったような状態である。

製材品の販売不振による原材料(丸太)の余剰、丸太価格の低下により山からの出材がストップしている。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

新型コロナウイルスの猛威が世界を萎縮させている。未曾有の難局を皆で知恵を出し、このような時にこそピンチをチャンスに変えて次の一手を考えていきたい。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

世界的に流行している新型コロナウイルスの拡大による影響はインバウンド及びサプライチェーン等広範囲に及び、深刻な景気後退を起こしている。未だ終息の時期も見通せず、今後多くの倒産が発生する可能性が高い。感染拡大が終息し、自粛ムードが収まり、個人消費が回復することを願う。かつて経験したことのない大不況に見舞われることになると思われる。工場の稼働率低下の原因は中国発のサプライチェーンの分断によるところが大きい。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

今回の新型コロナウイルスの影響で、業界全体で売上、設備操業度ともに大幅に減少している。

各社資金繰りへの影響が懸念される。問題は終息時期が見えないことである。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 3月 3,018m³ (前年比8.43%減少)

2年 2月 3,228m³

31年 3月 3,296m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

マツダの生産中止が月末近くに発表されたため、協力会社も対応を検討中である。

軋鉄鋼協同組合連合会

受注等の問い合わせの電話が減少しているため、新型コロナウイルスの影響が出るのはこれからではないかと思われる。

建設向けの鋼材が3月から急激に減少したのが新型コロナウイルスの影響か否かははっきりしない。

造船向けの製品も落ち込むことが予想されていたが、こちらは受注があり、多忙である。ただし、先行きは不透明である。

関東向けの物流がストップすることとなれば、業務に支障が出る。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、例年通りの年度末並みの増加となり、前月比46.2%増加、前年同月比8.5%減少となった。前年比やや減少となったが特段大きな理由はない。

新型コロナウイルスの影響により、営業や出張に影響が出ている。国内外ともに厳しい受注環境が続いている。

出島工業会協同組合

現状では、業績については前年比変化なしではあるが、今後は新型コロナウイルスの影響が強く出てくることが予想される。

組合の課題としては役員の高齢化と世代交代である。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月の売上は、受注量が減少しており、前月比変化なし、前年同月比8.0%減少となった。

前年同月比減少の主要因は、輸出の減少と新型コロナウイルスの影響である。

海外部品の入荷につき調査中であり、状況によっては操業停止の可能性もある。影響がどこまで続くのか、読めないことが不安材料となっている。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

・3月の国内自動車販売台数は全需が581千台、前年同月比9.3%減少と6ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比10.2%減少と6ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比で7.6%減少と6ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同8.2%増加と3ヶ月振りの前年超え

- ・アメリカの2月の全需は1,373千台で前年同月比8.6%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同19.0%増加と5ヶ月連続の前年超え
- ・欧州の2月の全需は1,233千台で、前年同月比5.0%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同26.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・中国の2月の全需は1,405千台で、前年同月比5.2%減少。マツダ車も同79.0%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は80千台、前年同月比15.0%減少で2ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの2月の輸出動向については、輸出台数は前年比15.2%減少と5ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比16.4%減少と5ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年2月の船舶建造許可実績は5隻、285,950総トンであった。（前月3隻68,040総トン、前年同月2隻203,700総トン）なお内訳は全てが輸出船で、この内貨物船が4隻、油槽船が1隻であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

中国からの輸入が減少していたが、最近は少しずつ戻りつつある。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

全体としては、消費税率引き上げ後の景気後退の中、新型コロナウイルスの影響が重なり、特に体力のない組合員の景況感が急速に悪化している。新型コロナウイルスの影響がどこまで及ぶのか、現時点では予測不可能であり、先行きも不透明である。

「雑貨」においては、日用品の特需により好況。しかし、イベント中止や観光需要の減少により物の動きが滞り紙製品の販売は減少している。来客が減り、繁忙期であるはずの年度末ではあるが売上が減少している、

「資材」においては、受注残がある事業者は今のところ目立った影響は出ていない事業者もいる。しかし、中国からの資材・部品の輸入がストップし、年度末の駆け込み販売がなくなったことから業績が悪化している。

「食品」においては、スーパー向け日配品・生鮮品は好況。飲食やお土産向けは激減。販売先により好不況の差がでている。

「繊維」においては、小売店での販売不振や展示会の中止等で売上が減少。夏以降の商談も中止になるケースもあるなど厳しい状況が続いている。

消費税率引き上げや新型コロナウイルスの影響により、先行き予測が不可能な状態である。今月と同様の状態が続けば、5月頃から資金繰りの見通しが立たない事業者も出てくる。

協同組合福山卸センター

新型コロナウイルスの影響が除々に表れ始め、景況感は悪化している。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

今月の売上は、新型コロナウイルスの影響により、米類の消費者向けは増加、業務用は減少した。食品原材料はやや減少、燃料は特に変化なしとなった。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

1月の住宅着工より、電設資材仕上げの先々予測は、持ち家は7月頃の仕上げが減少、貸家は10月頃の仕上げが減少、分譲は1月頃の仕上げが大幅に減少することが予想される。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、各メーカーは除々に商品供給が滞り始め、3月以降の販売計画に影響が出始めている。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月は、新型コロナウイルスの影響は限定的だが今後は影響が拡大する見通しである。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

びんご畳表の相場は横ばいで推移、取扱量や販売量は緩やかに低下している。大都市圏を中心に、新型コロナウイルス感染拡大の動きが、需要を大きく押し下げている。

国内で畳表生産量1位の熊本においても販売価格は強めで推移しているが、消費地の需要が思ったほど上がらず取扱量も低下している。

中国産畳表についても、取扱量は低下傾向にある。輸入も止まり、既存の在庫を需要に応じて販売している。

(小売業)

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

新型コロナウイルスの影響により、食品などの生活必需品の売り上げは伸びているが、飲食店、サービス業の売上は2割減となっている。しかし、遠方に外出しないためか、地元客を中心に来店客数は若干増加している。

広島生鮮三品連絡協議会

消費税率引き上げ以降、節約志向は続き、鮮魚・青果とも景況感が悪化している中、青果は前月後半より相場が持ち直し、売上が回復した。

大手スーパーのポイント還元や安売り競争が定着し、記録的な暖冬による冬物商材が売れない状況も重なり、中小鮮魚青果小売店は、収益回復が見られない。

新型コロナウイルスの影響によりまとめ買いが大型店に集中し、イベント自粛が飲食業界に広がり、納品キャンセルなど、影響が出始めている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比15.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比12.3%減少、冷蔵庫同23.6%減少、洗濯機同16.7%減少、IHクッキングヒーター同8.4%減少、電気温水器同6.2%減少、エアコン同10.4%減少となった。

新型コロナウイルスの影響によりメーカー企画の春の合同展示即売会は全会場中止、店ごとの個展も実施店が自粛しているため、先行きが見通せない状況である。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

暖冬による灯油需要の落ち込みに続き、新型コロナウイルスの影響により人や物の動きが少ないため業況は非常に悪い状況が続いている。石油製品を扱う業態ゆえに、在宅勤務も不可能である。感染症対策のためのマスクは入手困難な状態が続いており、従業員がウイルスに感染しガソリンスタンドの営業継続が出来なくなれば、緊急車両も走れなくなる。マスクの手配に配慮をお願いしたい。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

新型コロナウイルスの影響により人出が減少し、売上も大幅に減少している。

呉本通商店街振興組合

後継者不在と近隣への競合出店により、5月の連休明けに組合員が1店舗閉店する。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比26.8%増加、前年比3.2%増加

車検場収入は、前月比25.1%増加、前年比1.6%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比47.5%増加、前年比3.9%増加

※前年1年間との比較

車検台数は、前年比5.9%増加

車検場収入は、5.6%増加

重量税・登録印紙の売上は、前年比11.5%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

新型コロナウイルスの影響により、年度末にもかかわらず今までにないほど大幅な売上減少となった。

また、各イベントも自粛となり、一部の組合員にも大きな影響が出ている。

屋外広告業界も、広告宣伝の自粛など今後はさらに悪化するものと思われる。

●警備業

広島県警備業協同組合

新型コロナウイルスの影響により、特にイベント警備を多く請け負う組合員はイベント中止の影響が大きい。警備場所や内容によっても企業間格差が大きくなっている。

●情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

新型コロナウイルスの影響で、部品が入手困難となり、受注も減少している。資金繰りも心配である。

(建設業)

●工事業

神辺建設業協同組合

新型コロナウイルスの影響で今後仕事量も減少してくることが予想される。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比11.2%増加、前年比12.3%増加となった。3月分受付件数は、過去3年と比較しても増加となった。

2019年度は、消費税引き上げ前の駆け込み需要により、過去2年間と比較して工事受注件数は増加した。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、3月度は前月比18%増加となったが、前年同月比21%増加となった。累計前年比の下げ幅が多少改善されたが、最終前年比97.7%となった。

新型コロナウイルスの感染拡大で、海外生産の水廻り設備機器の納期遅延が発生しており、住宅関係ではそれに引きずられて、内装工事の延期や中止も出ている。また、内装材のプラスチック床材も海外生産が多く、品薄状態となっている。そもそも、4月以降の物件が少なくなっている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

3月上旬は新型コロナウイルスの感染拡大懸念により、学校が休校となり、食料品や買いだめによる日用品の配送が増加した。

中旬以降は、中国の都市封鎖に伴いサプライチェーンが毀損し、中国に依存している日本の製造業も大きな影響を受け物流も止まった。

今後、世界的な感染拡大を受け、日本は全ての業種で多大な影響を受け物流もさらに減少していくと思われる。

松永地区トラック事業協同組合

3月の売上高は、前年比、前年同月比とも減少となり、収益状況も悪化に転じた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、先月は関東・関西方面から中国地方への返路貨物が減少しつつあったが、3月に入り、自粛による経済活動の落ち込みによりリーマンショックの時とは比べものにならない程貨物輸送量が減少している。

軽油価格が値下がりしているが、この状態が続くと荷主から運賃値下げ要請が出て働き方改革に向けて職場環境やドライバーの賃金改善等がさらに出来なくなり、将来に向けて不安ばかりが積み重なっている。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

3月は新型コロナウイルスの影響により、荷動きが悪くなってきている。しかし、食料品、日用品等の動きは未だ大きな落ち込みはない。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、前月比、前年同月比ともに年度末までに提出の市町の固定資産税標準宅地評価作業、路線価評価作業により一般評価作業の仕事量を控えていたため、その分仕事量が減少し、収益は悪化している。資金繰りは12月以降、良好である。

地価は依然として上昇基調で推移しているが、新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要の大幅な減少により、ホテル用地取得が市内中心部、流川地域やその周辺地域でなくなってきている。流川地域では2棟のホテル建設が凍結されている。

マンション用地は利便性の高い中心部では、現時点では土地単価が高くなりすぎて、分譲マンション建築では採算が合わなくなっているが、中心部周辺のリバーサイド地域ではまとまった土地の確保が難しくなっている。

規模の小さな賃貸マンション用地の需要は依然として根強い。

建築業界は、人手不足と新型コロナウイルスの影響による材料不足により工事の進捗が遅れている。

今のところ業界内では、これといったコロナウイルスによる影響は出ていないが、これから一般鑑定等で企業の収益状況が厳しくなれば、費用削減のために鑑定評価依頼が減ってくるのではないかとの意見が出ている。

逆にコロナウイルスの影響で、企業体力がなくなった会社に対して、資金力のあるファンド等による企業買収が増え、それに伴う不動産鑑定が出てくるのではないかとの意見もある。